

# 千利休と三好長慶の生きた時代 講談「茶の湯戦国記」連続読み

連続読みとは、「太閤記」や「赤穂義士伝」のような長い演目を、何度かに分けて読む講談です。「続きは次回のお楽しみに……」と締めくくられ、続きが聴きたくなります。



旭堂南海

大阪大学文学部で国文学を専攻。平成元年2月、三代目旭堂南陵に入門。「大阪府芸術劇場奨励新人賞」「咲くやこの花賞」を受賞。ガマの油売り、バイオリン演歌などの芸も合わせ持つ。



旭堂南湖

平成11年4月、三代目旭堂南陵に入門。「大阪舞台芸術新人賞」「文化庁芸術祭新人賞」「文化庁芸術祭新人賞」「滋賀県文化奨励賞」受賞。単著「旭堂南湖講談全集」(レベル)、共著「怪談四十九夜 病室」(竹書房怪談文庫)好評発売中。



旭堂一海

平成11年鳥取県鳥取市生まれ。平成29年奈良大学文学部史学科に入学。令和元年9月、奈良大学中退後、旭堂南海に入門。



室町時代に大きな変革を遂げた茶の湯は、戦国大名たちに庇護され、千利休により「わび茶」として大成し、三千家へと伝えられ現在に至っています。

このたび、わび茶の大成者である千利休と戦国武将・三好長慶の生きた時代を、日本の伝統話芸「講談」でお楽しみください。

茶室広間では靴を脱いで、リラックスしていただけます。講談が始まる前に、展示や茶室をご覧ください、お茶の世界を身近に感じてください。

【開催日】2022年 6月18日(土)

4回連続の  
講談会です

7月2日(土)

7月16日(土)

8月13日(土)

【会場】1階茶室広間

靴下の着用を  
お願いします

【開場】13時30分

【開演】14時～15時45分

\*途中換気、休憩あり。

【参加費】2000円(各回毎・当日現金にて)

【参加定員】30名(要予約・先着順)

【出演と演目】

旭堂南海：「茶の湯戦国記」連続読み

旭堂南湖：「荒大名の茶の湯」(6/18)

「長短槍試合」(7/2)

「秀吉と利休」(7/16)

「雪夜の茶会」(8/13)

旭堂一海：開口一番

本講演に参加された方は、常設展示観覧料2割引！

堺市内在住の65歳以上の方、身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方は、証明書、手帳またはミライロIDの提示により無料になります。

さかい利晶の杜の「千利休茶の湯館」は、堺で生まれた千利休と茶の湯を知ることができる展示室です。東隣には利休の屋敷跡もございます。この機会に足をお運びいただき、千利休の生きた時代へ、思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

申込・お問い合わせ：さかい利晶の杜

072-260-4386

〒590-0958 堺市堺区宿院町西2丁1-1

<https://www.sakai-rishonomori.com>

参加申込先(定員30名)

さかい利晶の杜へお申し込みください

5月16日(月)  
受付開始

TEL: 072-260-4386(代表)

FAX: 072-260-4725

mail: event@sakai-rishonomori.com

お名前・ふりがな・電話番号・お住まい(〇〇市〇区)・参加日を明記の上、お申し込みください。

コロナ感染対策のお願い

- ご来館時には検温、手指の消毒にご協力ください。またマスクの着用や咳エチケットを遵守してください。
- 講演当日、咳や37.5℃以上の発熱、強い倦怠感、息苦しさなどの症状がある場合はご参加をご遠慮ください。
- 「大阪コロナ追跡システム」への登録にご協力ください。
- 感染症拡大や天災等の影響により、講演形態の変更や時間短縮、中止の可能性あることをご了承ください。
- 感染症対策により、定員を通常の半数にしています。

個人情報などの注意事項

- お預かりいたしました個人情報は、さかい利晶の杜が責任をもって管理し、本講演の運営以外の目的には使用いたしません。
- 講演会中、記録や広報目的のために写真・動画を撮影し、HP・SNS等で使用する場合がございます。予めご了承ください。
- FAXでお申し込みの場合は、番号をよくお確かめの上、お送りください。